

令和6年度 第3回 牛津高等学校 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）議事録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第3回学校魅力強化委員会（学校運営協議会）の会議録を公表します。

開催日 令和6年7月17日（水） 於 牛津高等学校テーブルコーディネート室
開催時間 17:00～18:20
出席者数 委員9名 事務局3名 SAGA コラボ校内委員1名
出席者 <魅力強化委員>
長戸委員 高元委員、横尾委員、七浦委員、大坪委員、ドジソン委員、
金森委員、山本委員、江頭委員（校長）
<事務局>
鍋島（教頭）、古川（事務長）、池田（主幹教諭）
<SAGA コラボ校内委員>
中島（魅力化コーディネーター）

【会議の内容】

1 開会

2 学校長挨拶

3 協議

（1）「お店プロジェクト（仮）」について

「お店プロジェクト（仮）」について主幹教諭から説明。コンセプト、方向性は前回の熟議の内容を盛り込んだものになっている。

（委員1） だいたい何人ぐらいが来ることを予測してこの事業を計画しているのか、それによって広報の仕方が変わっていく。たくさん作ってもいけないし、少なすぎてもいけない。どのような想定で計画しているのか。

（主 幹） 現在のところ、そのどれぐらいの集客ができるか、まだ想定ができてない。各学科で、検討してもらっている。これから検討をしていくところである。

（委員1） 煎茶は準備できると思うが、午前中に客が殺到して売り切れてもいけないし、目標数を決めて広報活動をしなれないといけない。数は決めておいたほうがよい。

（委員1） 広報は地元の人にされると思うが、牛津のショッピングセンターに貼ったりとかして地元の人に見てもらわねなので、目標数など含めて広報活動をしたほうが良い。また、ポスターはいつから貼りだすのか。

（主 幹） 貴重なご意見ありがとうございます。これから各学科で検討をしていきます。

当日は、牛津のセリオで手作りマルシェが行われているのでかなりの集客が見込まれる。そのことも含めて検討をしていく。

（委員2） 原材料などのコスト負担はどのようになっているのか。学校が負担するのか。小物の材料費などはどうするのかなど、事業計画的なものはあるのか。

（主 幹） 服飾デザイン科の小物は、現在作っているものを売る予定。食品調理科の梅福などは儲けが出ないように原材料費分の価格で販売している。

（委員1） 儲ける必要はないが、原価ぐらいは回収できるといい。売り上げを出すことは商売の基本だから起業家としては重要なことである。

（委員2） 中学校でやるときも費用からそれ以上稼ぐこと、利益を出してくださいというのを中学生

でもやっている。もともとの材料費は学校が立て替えているのか。

(校長) 今はどうなっているかわからないが、これまでも小物販売などいろいろやってきたが、売り上げを次に使うみたいな感じなのか。

(委員2) プールされた予算とかがあるのか。

(事務長) いろいろな形態があるが、通常は業者の方に掛けで材料を仕入れて、売り上げが出た後に支払うという形。仕入れと売りあげがプラスマイナス0になるように計画されている。

(委員3) お金についてはきちんとしなないといけないが、仮に2万円3万円が残るとした場合。高校としてどのような扱いになるのか。事業としてやる場合、どのようにするのか決めておかないと、あやふやではだめだと思う。

(事務長) 農業高校の場合、授業で生産物とかを作って販売する場合、原材料は県から予算で購入している。例えばメロンの苗を仕入れて育てて販売した場合。苗の仕入れは県の予算で購入し、売り上げはすべて県の収入になっている。本校の場合県からは1円ももらっていないので今後どのようにするか検討していきたい。

(委員3) 問題がないようにしていけないといけない。良かれと思ってやったことでも問題になればいけない。

(事務長) 今まで、利益が出た場合は子ども食堂などに全額寄付をしていた。

(委員3) 今後お店をやっていく場合原資があったほうがいいので、県と相談してやってほしい。

(事務長) やり方を県と相談して対応していきたい。

(委員2) 鳳雛塾が佐賀市の小学校でやっている例では、事業計画書を書かせて仕入れの分を銀行が貸して、利益も出すようにしている。最初に利益の使い道を考えて、地域に還元するとか。地域に寄付するなどを目標にして行っている。

(委員1) 赤字が出ないようにしたほうがいい

(委員3) 税務署にも確認をしておいたほうがよい。商売をするわけだから、規定があるみたいだ。

(委員3) いい取り組みだから、報道機関に周知して取材をしてもらったほうが子供たちもやりがいがあるのでは。

(主 幹) 行事をする場合、県のプレスリリースがあるのでそこでも周知したい

(委員3) 地元のサガテレビや佐賀新聞に直接取材依頼をしてきてもらったほうがよい。

(委員1) 前はかちかちワイドなどでも祭りの告知などを行っていた。

(校長) ファッションショーなども告知を行ったことがある。

(委員3) 当日は、マルシェのお客さんやセリオのお客さんなどがたくさん来られる。手に持つ看板くらい作って呼び込みの勉強もしてみたほうが良い。「よなよなあんこ」さんが出店されるといことなので相当なお客さんの数になると思う。セリオだけでなくお店とか駅とかチラシやポスターを作って早めに貼っておいたほうが良いと思う。

(委員4) 店にテーブルや椅子は準備するのか。一服ということはそこで座ってお菓子食べたりお茶飲んだりゆっくりできるのか。8月末はまだ暑いのでセリオに来られる方は涼みに来る方が多いと思う。クーラーがきいているので。煎茶は暑いときに熱いのを飲むのはどうか。

(委員3) マルシェはお店の中で行っている。外にはキッチンカーが2台か3台か止まっている

(主 幹) 煎茶は冷たいものも準備している。

(委員2) 先ほども言ったが準備する数量や個数とかが重要になってくる。早く売り切れてもいけない。

(委員4) 通常は従業員さんの給料の分も値段に入っているが、学生がしているので安い値段で提供

できるのでその分売れるかもしれない。

(委員 1) 同じ質であれば、安いほうが絶対に売れると思う。

(委員 2) やって見ないとわからないが、少し考えてから実施したほうが良い。何も考えずにやるよりも、考えておけば反省点もでるだろう。

(委員 3) それを次に生かせばいいので、最初から完璧にできるものではない。

(委員 1) 土曜日なので、暑いので意外と早い時間にお客さんが来るような気もする。

(委員 4) テーブルと椅子でやるので、ゆっくりされると回転数が遅いかもしれない。マルシェで買ったものやお弁当をそこで食べられるかもしれない。

(主 幹) ご意見を各学科に伝えておきます。

(委員 2) 仮説を立ててもらうことが大事

(委員 3) 失敗しても次に生かすことができる。だんだん仕上がっていけばよい。大人がやるときは失敗できないが子供たちがやるので失敗はしてもいい。

(委員 1) とにかく事前の準備をしっかりとっておいてください。

(主 幹) 委員の皆様も 24 日はご来店ください。

(2) 全国募集について

全国募集について主幹教諭から説明。まだ準備段階ある。委員の方々からの意見をもとに今後小城市や県と話し合いをしていく予定である。

(委員 2) 地域みらい留学をしている学校は全国で何校くらいあるのか。

(主 幹) 全国で 130 校くらいが参加している。そのうちの 2 校が佐賀県の有田工業高校と唐津青翔高校である。

(委員 2) 有田工業校は何人くらい来ているのか。

(主 幹) 有田工業高校は初年度に 1 名、2 年目に 6 名、その次に 1 名と聞いている。

(委員 2) 130 校の中で希望者は何人くらいいるのか

(主 幹) 地域みらい留学のイベントなどに参加している中学生が 1000 人から 2000 人くらいで、実際に地方の高校に留学しているのが 700 人くらいである。県の目標では 2 校にそれぞれ全国から 5 人である。

(委員 2) それでは住まいとかも 5 人分は確保しておく必要があるということ

(委員 3) 空きアパートなどはこの辺りにもあるので、お金さえ準備できれば住むところは確保できると思うが、3 食をどう食べさせていくのかを地域の人に協力をしてもらわないといけない。下宿が一番いいが。

(主 幹) 高校生が自分で食事を作って生活するのはなかなか難しいと思う。

(委員 3) 地域のいくつかの食堂と契約して。今週はここ、来週はここという風にすればできるのではないか。

(委員 1) 有田工業高校はどのようにしているのか。

(主 幹) 有田工業高校はシェアハウスで生活をしている。

(コーディネーター) 有田工業高校は改築して寮を作っている。寮母さんなども常駐で、食事も提供している。

(委員 2) それは有田町が運営しているのか。

(コーディネーター) 有田町ではなく、運営はプラットフォームがしている。

(委員 4) 県のプレスリリースにも載っているが、有田工業校の生徒をシェアハウスの「ありこや」

というものがある。このような施設があるということで全国募集をされている。

(委員 4) 学校の施設の一部を使って。小学校とかでは放課後の児童クラブなどを空き教室などで使っているが。学校の空き教室に 2 段ベッドなどを置いてできないか。

(委員 3) 赤レンガ館の隣の牛津町会館などはどうか。部屋はあるが、お風呂とトイレは改修しなければならない。ただ、食事を作ってくれる人を雇わなければいけない。他にも空きアパートや戸建ての空き家などもある。

(委員 3) 佐賀錦部をもっとアピールしたらどうか。先日皇后様がイギリス王室に佐賀錦のバックを送られたというニュースがあったが、佐賀の佐賀錦のことをもっと宣伝したほうがいいのでは。

(委員 2) 全国募集の今後の流れなどはどのようなになっているか

(主 幹) まずは学校が全国募集をするという意味を示した後、小城市との協議を重ね住まいの確保などができるようになり、実績が出てくれば、県に地域みらい留学にかかる予算をつけてもらうという流れである。一番早くても令和 8 年度入試からであるが、8 年度入試の時は県からの地域みらい入学の予算はついていないと考えられるので学校独自で活動をしていくことになる。そこで実績をつくり、県に予算をつけてもらえば令和 9 年度入試から地域みらい留学に参加できる見通し。そのためには学校の魅力化を進めていかなければ、全国の中から牛津高校が選ばれるようにならない。

(委員 1) 同じような家政科の学校は全国にたくさんあるので学校独自の魅力を出さないと埋もれてしまう。差別化を図っていかなければ

(委員 5) 学科の紹介はわかりやすいが、全国の高校で調べればあまり変わらないと思う。そこで部活動を全面的に出すのはどうか。先ほどの佐賀錦部など。例えば高校野球で全国から集まってくるようなものを想像しているが。

(主 幹) 現在の地域みらい留学は北海道や九州の高校多く、地方の豊かな自然や、魅力的な地域と連携した活動を行っている学校が多い。小模校や定員割れをしている高校が多いのが現実である。

(委員 1) 部活動を前面に出すのもいい。ジャンベ部やなぎなた部がある。

(委員 5) なぎなた部でなぎなたをやりたい子が全国からくるようになったらいいが。

(委員 1) せっかく強い部活動があるので。ジャンベ部は全国的にも珍しいと思う。

(委員 1) これから改良されると思うが、部活動の特長というのは、先ほどの差別化ということもあったがもっと詳しく書いて発信してもいいと思う。

(委員 5) 住まいの件であるが、留学生がアパートの 3 部屋を借りてそこで共同生活をしている。学生同士の交流ができて、いい効果が出ている。最初は同じアパートの部屋をルームシェアみたいにするのもいいのかと思う。

(主 幹) 佐賀のアスリート寮がそのような形態。アパートの 3 DK のところを同じ学校の同じ部活動で部屋をルームシェアしている。

(委員 5) 留学生は食事も自分たちで作っている。高校生にできるがどうかはわからないが。

(校 長) 有田工業高校では自炊している生徒がいたのではないかと。最初は何も施設がないときはアパートに住んでいたのではなかったか。

(主 幹) シェアハウスでなくアパートに住んでいる生徒がいたと思う。

(3) 令和 6 年度地域連携取組の報告

令和 6 年度地域連携取組について主幹教諭から説明

(委員 3) インターアクトクラブも地域と連携した活動をしているので、ここに報告したほうがいい。募金活動や高齢者施設の慰問などもやっていたと思うが。

(委員 3) 牛津のイルミネーションのお手伝いにも来てもらっている。今年も産業祭の前をお願いしたい。

(委員 2) 先ほどPR動画を作るとあったが、5月の学校紹介動画とは別か

(主 幹) 5月の学校紹介動画は職員が学校を紹介するものであったが、このPR動画は生徒が主体となって作成し、出演をする。教育振興課から予算をつけてもらい業者が入って作成している。今年度は牛津高校だけがPR動画を作成する。昨年度は太良高校、唐津青翔高校が県の予算を使って作成をしている。

(委員 2) 鳥栖商業校が自分たちでアバターを作って学校紹介をしていた。先生もアバターで出演していた。こういうのもいいのではないか。

(主 幹) 先日、小城市の情報番組「おぎぶら」の撮影があった。小城市長が学校に来られて牛津高校をPRしてもらおう番組です。8月5日からぶんぶんテレビで放送されるのでぜひ視聴ください。

(委員 1) 体験入学の申し込みは締め切ったのか。

(主 幹) 体験入学の申し込みは7月5日まで、この数字は現時点での確定値である。

(4) 令和7年度使用教科書選定について

令和7年度使用教科書選定について主幹教諭から説明

説明の後、令和7年度使用教科書見本本を委員の方に閲覧していただいた。

例話7年度使用教科書にについて承認される。

閉会

諸連絡で、「高校魅力化評価システム」アンケートへ回答のお願い。第4回の魅力強化委員会は10月中旬を予定していること、交通費の算定のための調査票の記入について連絡があった。